

「言葉」の旅 — 脳から脳へ —

会場

第2会場
(1階さくら)

私たちが企画しました！

三上 靖夫（京都府立医科大学大学院
リハビリテーション医学）

菊澤 律子（国立民族学博物館）



三上 靖夫



菊澤 律子

声で、見て、触れて
様々なコミュニケーションから「言葉」を考える3日間

リハビリテーション医学・医療では、コミュニケーションに関する障害を多く扱います。コミュニケーションに欠かすことが出来ない言葉には、音声言語、手話言語、触手話や指点字などがあります。さまざまな言葉とその障害、治療を通し、言葉とはどういうものなのか、その本質に3日間連続で迫ります。

6月12日(木)8:30～11:50

構音器 の障害

教育講演

音声障害に対する
リハビリテーション治療

演者：平野 滋
京都府立医科大学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

特別企画基調講演

言葉って何？コミュニケーション
を包括的にとらえる視点

演者：菊澤 律子
国立民族学博物館

座談会

構音器と社会生活

舌がんなどにより構音器の障害
を持ち、機械読み上げや食道発
声などでコミュニケーションを
とる方々と交えた対談

6月13日(金)8:30～11:50

受容器 の障害

教育講演

人工内耳とコミュニケーション

演者：白井 杏湖
東京医科大学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

座談会

人工内耳と社会生活

受容器の障害により、日本手話+
人工内耳、音声日本語+人工内耳
などの手段によりコミュニケー
ションをとる方々と交えた対談

異モード間コミュニケーション

視覚障害者、ろう者、中途失
聴・ろう者の方々と交えた対談

特別企画講演

できない自分といかに折りあうか？
言葉の力を考える

演者：古賀 信太郎
新横浜リハビリテーション病院

6月14日(土)8:30～11:50

意思疎通支援

教育講演

失語症者の社会参加について
八王子失語症サロン・ペチカ
からのメッセージ

演者：東川 麻里
北里大学医療衛生学部
リハビリテーション学科

特別企画講演

手話失語検査の現状

演者：伊藤 さゆり
九州医療科学大学

竹本 直也
東京湾岸リハビリテーション病院

総合ディスカッション

言葉ってなんだろう？

3日間のプログラムを受けて本
企画の本質に迫る！